

【第2報】路面清掃A、飛び石の可能性ある事象（ 管内）

【発生日時】 2024年3月4日（月） 15：00頃

【発生場所】 E1A 伊勢湾岸自動車道 上り豊明IC～刈谷PA間 18.0KP付近

【工事件名】 2023年度 東名高速道路 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 路面清掃Aの作業中に、走行中のお客様の車両（フロントガラス）に飛び石の疑いが発生した。スウィーパーは路肩白線をまたいで走行、お客様は第二走行を走行。

【被害状況】 物的被害：相手方 乗用車フロントガラス 2か所にキズ 路面から高さ約1.4mと1.2m
人的被害：無し

【時系列】 15：00 頃 事象発生

15：10 路面清掃Aの作業中に、お客様の車両が前方の路肩に停止しており、スウィーパーの横を通過した際に飛び石があったとの証言があったため、安全のために上り刈谷PAに入り事実確認中との報告を受ける。

15：40 メンテ職員が現地へ行きお客様車両のフロントガラス、2箇所にキズがあることを確認した。

- ・お客様車両のドライブレコーダーは故障しているため、見れないとのこと。
- ・スウィーパーのドライブレコーダーを確認するため、連絡先を聞き、改めて今後の対応について連絡をすることをお互いに確認

17：30 ドライブレコーダーを確認するもデータが破損している可能性があり映像の確認が出来ず、復旧できるか明日以降確認することを相手方に連絡

3/5 スウィーパーのドライブレコーダーのデータ復旧できず、相手方へ連絡
今後について事故証明取得のため警察へ届け出て頂くよう依頼
事実確認と修理については話し合いをする。

3/5 14：00 お客様が愛知県高速隊 分駐に事故申告、メンテ職員も一部同席

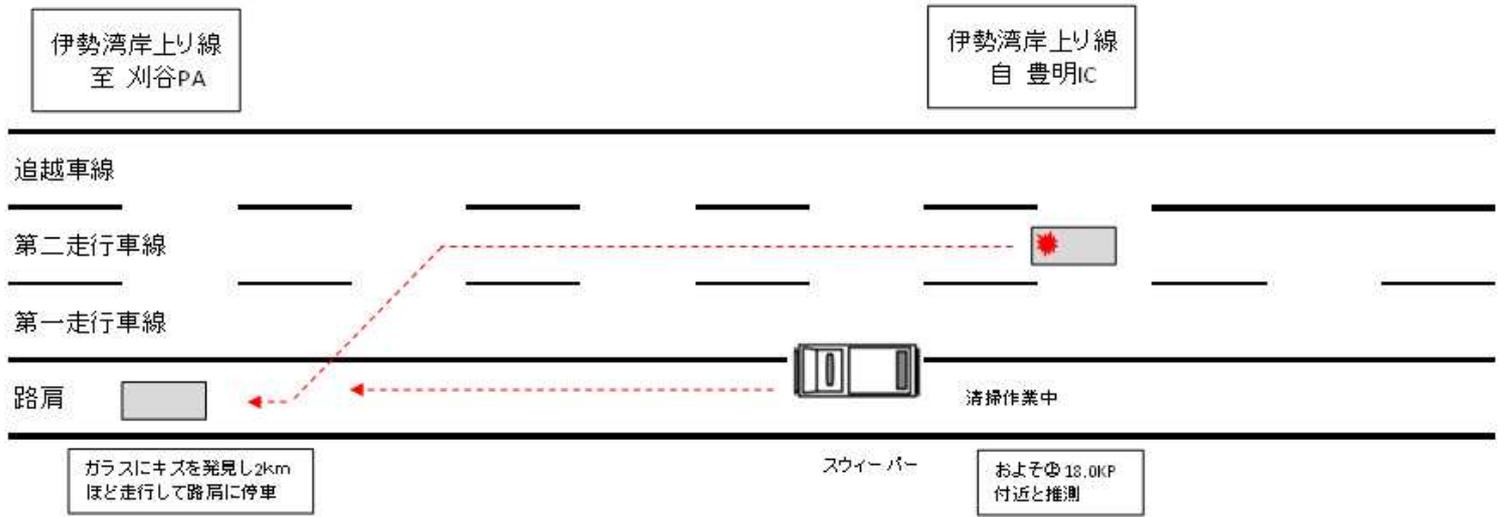
■警察の見解

- ・双方のドライブレコーダーの記録がないため、事故とは判断できないので事故証明は出せない。（事象があったことは受け付けます。）
- ・飛び石の発生源が、スウィーパーからであるとは特定できない。
- ・前方走行車両からの飛び石の可能性も否定できない。
- ・よって双方で話し合って解決してほしい。

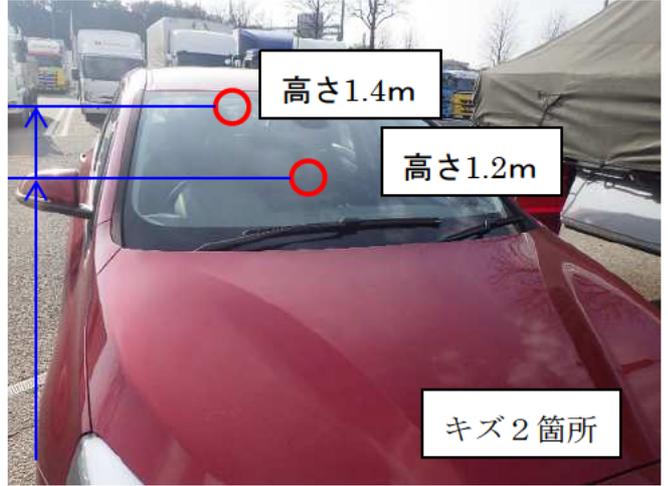
■メンテからお客様へ話した概要

- ・スウィーパーはゴムマットで養生しており、飛び石が発生しにくい構造となっている。また、過去にも飛び石の事象はほとんど発生していない。
- ・対応については、社内で検討する。

【作業概略図】



お客様車両



スウィーパー車両



【原因】

- ・カバー類の囲いもしっかりしており、手前で停車した大府ICにて降車し車両廻りに小石や土砂の無いことを確認していた。
- ・当方からの飛石であることは特定はできなかった。

【対策】

- ・ドライブレコーダーのデータの破損か撮影記録がなかった、今後、月に1回必ず、データの確認を実施することとする。
- ・従前に行っている作業前の、事前清掃確認の実施と各カバー類の締付点検を継続して行っていく。
- ・作業中にあっては、ICやSA・PAに降りるルートの場合で、安全に停車できる場所を確保できる時は作業を一時中断し、緩衝装置の上や、カバー類の上部に、小石や土砂が無いことを確認することを継続して行っていく。